

1	審議会名	平成25年第1回山本県記念館運営審議会
2	日時	平成25年5月16日 午前・後10時から 午前・後11時30分まで
3	会場	山本県記念館1階講習室
4	出席者	大井会長、尾澤副会長、工藤委員、清水委員、百瀬委員
5	市側出席者	倉澤館長、尾見係長、藤城主任、若林囑託、交流・文化施設開設準備室滝澤室長補佐
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	25年5月16日

協議事項等

- 1 開 会（尾見係長）
- 2 あいさつ（倉澤館長）
審議会委員の任期を記念館の閉館と新美術館への統合を考え、閉館までお願いします。
最終年度であり、特別展を企画しているので審議していただきたい。
後ほど、交流・文化施設の進捗状況の説明を滝澤補佐から行います。
- 3 自己紹介
市側出席者、審議会委員の自己紹介
- 4 正副会長選出
立候補者が無かったため、事務局案を提示し次の通り了承された。
会長 大井喜久氏
副会長 尾澤敏春氏
- 5 会議事項
大井会長が議長となり議事進行
 - (1) 館の活動について（藤城主任）
 - 平成24年度事業報告について
資料につき説明し、意見は無し
 - 平成25年度事業計画について
資料につき説明
(各委員の意見)
 - ・ 特別展は新しい美術館につなげる重要な企画であり、しっかりとやって欲しい。
 - ・ 記念館50年の歴史の中でかかわった人が大勢いるが、特別展は今までかかわった人にもアピールして新しい美術館に対する関心を持たせたらよいのではないか。
 - ・ 記念館は、県展など大規模展覧会や美術教室などの教育も積極的に行い、小さな施設としてはすごい活動をしたと思う。これらを新しい施設に移すにあたり特別展の企画は重要である。
(事務局)
 - ・ 特別展は展覧会と図録の出版を計画しているが、その他詳細は決まっていない。今後皆さんに相談して進めてゆくのので協力をお願いしたい。
(審議結果)
 - ・ 報告内容、計画内容について了承された。
 - (2) 交流・文化施設の進捗状況について（滝澤室長補佐）
 - ・ 新施設は2月末に完成し半年間乾燥させるのでオープンは10月の予定である。
 - ・ 山本県記念館を継承しなければならないので、その精神をよりよい形で引き継いでゆきたい。

- ・ 児童自由画、農民美術に加え、版画もしっかりやってゆく。
- ・ 山本県記念館 50 年の歴史を引き継ぎさらに盛り上げてゆきたいと考えている。
(各委員の意見)
- ・ 新施設では山本県の名前が薄らいでしまうのではないかという危機感がある。山本県に関する歴史的建物が取り壊されている中で、記念館建設に際しての経緯を考えて現在の記念館の建物は何とか残して欲しい。

6 次回予定について

会長と事務局とで改めて相談して決める。

7 閉会